

令和6年度 教育活動に関する保護者アンケート結果

学校評価委員会

<回収率> 小学部 100% 中学部 86.8% 高等部 78.2%
全体 88.3%

回答の傾向について

全体を通して「A」「B」の回答が90%を超える結果となりました。特に、重点目標及び各学部の重点目標に対する回答については95%を超える高評価となり、子どもたちの成長を保護者の方々が感じてくださっているという結果であると捉えられます。さらに、これらの項目に関する教職員アンケートと児童生徒アンケートについても高評価となっており、学校としての取り組みの成果が目に見える形となったと考えています。意見記述においても、子どもの成長を感じているという意見を多く頂きました。

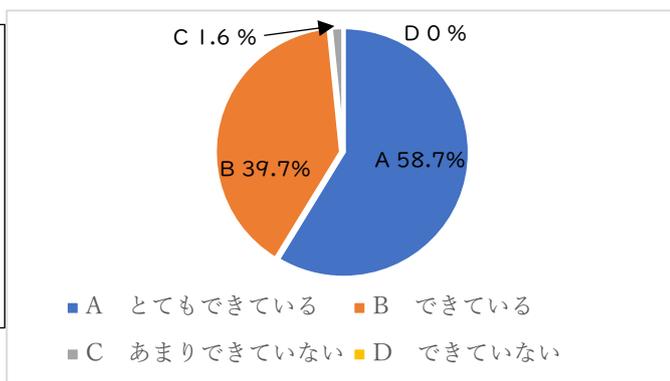
一方で、各学部の実年齢や発達段階におけるの困りごとや要望等も頂いています。改善策を検討しながら、一つ一つ取り組んでいきたいと考えます。

重点目標・重点事項

※重点目標1

学校は、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びの中で、学部間、学校間及び卒業後の学びの連続性を重視しながら、自立と社会参加に向けた資質・能力の育成を図っている。

A 58.7% B 39.7% C 1.6% D 0%



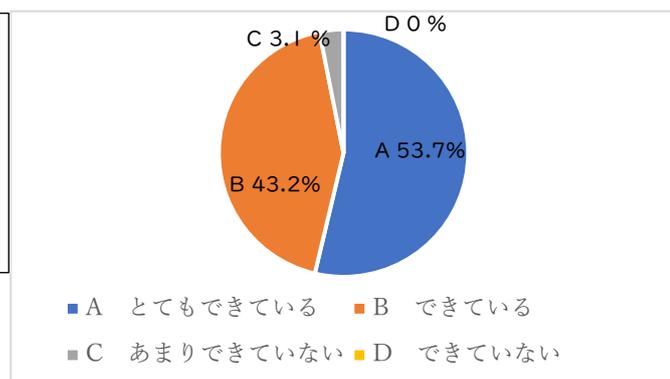
「A」「B」合わせての回答で98.4%となりました。

また、この項目に関連する各学部の重点事項(1)の達成状況を問う質問においても、各学部「A」「B」の回答が95%以上となり、授業や学校生活全般を通して、子どもの成長を保護者の方が感じていると捉えられる結果です。今後とも、子どもたちの成長のために学校と家庭で連携を図っていききたいと考えます。

※重点目標2

学校は、効果的なICTの活用を通して児童生徒の情報活用能力を育成し、児童生徒が様々な場面で一人一人の能力を発揮することができるよう努めている。

A 53.7% B 43.2% C 3.1% D 0%



「A」「B」合わせての回答で96.9%となり、昨年度と比較して4%ほど数値が上昇しました。子どもたち

の学習において、タブレット端末の活用やインターネットを使用した授業を御理解いただいている結果であると捉えられます。この質問に関連する各学部の重点事項（２）についても、「A」「B」の回答で94%以上となり、各学部とも昨年度より10%前後数値が上昇しました。お子さんの発達段階や学習状況による差を感じることはあると思いますが、今後も情報活用能力の育成に向けて「ICTの効果的な活用」に取り組んでいきたいと考えます。

研修

※研究推進

学校は、様々な学習や生活場面において、児童生徒が身に付けた力を十分に発揮させ、社会に参加し豊かに生活する力につながる資質・能力の育成に努めている。

「A」「B」の回答

小学部 98.7% 中学部 100% 高等部 98.7%



教育講演会

全学部において、98%を超える結果となりました。昨年度と比較し、どの学部においても数値が大きく上昇しています。本校では、子どもたちが授業で身に付けた力をさまざまな場で発揮させ、社会に参加していく豊かな力を目指し「学習や生活の場面で活用できる！生きて働く力を育む授業づくり」をテーマに3年計画で校内研究を進めています。3年次となる今年度は「大笹生支援学校の育成したい子ども像を目指して」をサブテーマとし、全教員が15グループに分かれて「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」を育成する授業づくりの研究に取り組みました。6月には校内研究のテーマに関わる内容の講演会を実施しており、これらの取り組みが高い評価へとつながったのではないかと考えます。

保健

※保健指導の充実

学校は毎日の健康管理や歯磨き指導、性に関する指導など、健康に関する保健指導を行っている。

「A」「B」の回答

小学部 97.5% 中学部 97.0% 高等部 96.2%



高等部「がん教育講話」

全学部で95%を超える結果となりました。「性に関する指導」については、担任と養護教諭が連携しながら指導を行っています。児童生徒の実態に合わせ「男女の体の違い」や「人との距離」などの授業を実施しており、必要に応じて、養護教諭が指導の相談を受けたり、教材の貸出等を行ったりしています。また、「歯磨き指導」や「がん教育」等についても講師を呼び、講話や実技指導等をいただきながら取り組んでいます。今後も家庭等と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えます。

また、保健の項目に関しては、「給食指導の充実」についても、全体を通して「A」「B」の回答98.9%と高い評価となりました。今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。

※会員間相互の連携・協力

父母と教師の会では、会員相互の交流の場として「夏祭り」や「茶話会」、「進路座談会」などの事業の充実に努めている。

「A」「B」の回答

小学部 97.4% 中学部 100% 高等部 98.7%

全学部において、97%を超える結果となりました。昨年度と比較し、どの学部においても数値が大きく上昇しています。一方で、児童生徒アンケートの「地域の行事へ参加したいか」を問う質問に対して、高等部生徒の回答は「はい」が50%程度となっています。実年齢や地域の特色等、様々な理由があると捉えています。学校としてできる情報の発信を今後も続けていきたいと考えます。

＜意見記述から＞

- ・児童一人一人に対して大切に考えられていて、尊重されていることがよく分かった。よりよい成長をこの先、学校や地域の人たちと目指していければと思う。
- ・学年にとらわれず、発達段階や子どもの特性に合わせたクラス編成をするのは難しいのでしょうか。低・中・高学年など、ある程度のくくりは必要だと思いますが、充実したクラス活動を行うためにも、もっと柔軟なクラス編成をしていただけたらと思います。何年も同じクラスで過ごすより、クラス替えによる環境の変化を経験し、それに対応していくことで、より成長できるのでは…と思っています。
- ・PTA活動は、負担のないようもう少しスリム化していくべきだと思います。
- ・高等部の障害の重い生徒について、個々の目標やクラス等の目標は分かりますが、今回のアンケートと一緒に配布された「令和6年度学校経営・運営ビジョン」内の「高等部」の項目を見ると、6項目（写真の）全て参加できていないものなので、これらの項目で重度の生徒たちは何をしているのか知りたい。
- ・就職に関してで、子どもたちや親の考えを分かってくれる先生が、担当の方が良いです。
- ・部活動の時間を増やして欲しい。(ニュースポーツ) クラスや学年をこえて、様々な人と関われる機会なので得るものが大きい。できるできないにとらわれず、“身体を動かすと楽しい”という機会を多く設けて欲しい。
- ・いつもありがとうございます。子どもが楽しそうに通えており、とても安心して預けられる学校だと感じています。

他にも多くのご意見をいただきました。改善策を検討しながらより良い学校運営に向けて一つ一つ取り組んでいきたいと考えます。

